

登録区分	登録	入・外
------	----	-----

プロトコール名

多発性骨髄腫－IsaKd (1 サイクル目)

1. 適応疾患：再発難治性多発性骨髄腫
2. 投与量と投与スケジュール

薬剤名	投与スケジュール													
	1	2	・	8	9	・	15	16	・	22	23	・	28	1 (2 サイクル目)
Isatuximab(サークリサ) 10mg/kg/日	●			●			●			●				●
Carfilzomib(カイフ [®] ロリス) 20mg/m ² /日	●	●												
Carfilzomib(カイフ [®] ロリス) 56mg/m ² /日				●	●		●	●						●
Dx(デキスマタゾン)内服 20mg/body/日	●	●		●	●		●	●		●	●			●

〈投与方法〉 4週を1コース

〈評価方法〉 血清検査、画像検査など

〈上限クール〉 1クール

Day1

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	アセリオ 1000mg	点滴	15分
②	生食 50mL	点滴	15分
③	サークリサ _____mg 生食 _____mL (全量で 250mL)	点滴	0～60分 : 25mL/h 60～90分 : 50mL/h 90～120分 : 75mL/h 120～150分 : 100mL/h 150～180分 : 125mL/h 180分～ : 150mL/h
④	カイプロリス (20mg/m ²) _____mg 蒸留水 (溶解用) 20mL (10mg は 1V/5mL, 40mg は 1V/20mL で溶解) 5%ブドウ糖液 100mL	点滴	30分
⑤	生食 50mL	点滴	全開

※IRが発現した場合

- ・Grade3以上は投与を中止。Grade2は1以下になるまで休薬する。
- ・症状が改善した場合は、投与開始速度の半分の投与速度で患者の状態を観察しながら再開できる。
- ・投与再開30分後までにIRの再発が認められなかった場合には以下の如く投与速度を上げられる。

<u>〈Day1〉</u>	
0～30分	: 12.5mL/h
30～60分	: 25mL/h
60分～	: 50～150mL/h (30分毎に25mL/hずつ)

Day2

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	生食 100mL	点滴	ルート確保用
②	カイプロリス(20mg/m ²) _____mg 蒸留水(溶解用) 20mL (10mgは1V/5mL,40mgは1V/20mLで溶解) 5%ブドウ糖液 100mL	点滴	30分
③	生食(①の残り) 100mL	点滴	全開

Day8

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	アセリオ 1000mg	点滴	15分
②	生食 50mL	点滴	15分
③	サークリサ _____mg 生食 _____mL (全量で250mL)	点滴	0～30分 : 50mL/h 30～60分 : 100mL/h 60分～ : 200mL/h
④	カイプロリス(56mg/m ²) _____mg 蒸留水(溶解用) 100mL (10mgは1V/5mL,40mgは1V/20mLで溶解) 5%ブドウ糖液 100mL (投与量が100mg超過時は80mL)	点滴	30分
⑤	生食 50mL	点滴	全開

※IRが発現した場合

- ・Grade3以上は投与を中止。Grade2は1以下になるまで休薬する。
- ・症状が改善した場合は、投与開始速度の半分の投与速度で患者の状態を観察しながら再開できる。
- ・投与再開30分後までにIRの再発が認められなかった場合には以下の如く投与速度を上げられる。

<u>〈Day8〉</u>	
0～30分	: 25mL/h
30～60分	: 50mL/h
60分～	: 100～200mL/h (30分毎に50mL/hずつ)

Day9,16

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	生食 100mL	点滴	ルート確保用
②	カiproリス(56mg/m ²) _____mg 蒸留水(溶解用) 100mL (10mgは1V/5mL,40mgは1V/20mLで溶解) 5%ブドウ糖液 100mL (投与量が100mg超過時は80mL)	点滴	30分
③	生食(①の残り) 100mL	点滴	全開

Day15

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	アセリオ 1000mg	点滴	15分
②	生食 50mL	点滴	15分
③	サークリサ _____mg 生食 _____mL (全量で250mL)	点滴	200mL/h
④	カiproリス(56mg/m ²) _____mg 蒸留水(溶解用) 100mL (10mgは1V/5mL,40mgは1V/20mLで溶解) 5%ブドウ糖液 100mL (投与量が100mg超過時は80mL)	点滴	30分
⑤	生食 50mL	点滴	全開

※IR が発現した場合

- ・ Grade3 以上は投与を中止。Grade2 は 1 以下になるまで休薬する。
- ・ 症状が改善した場合は、投与開始速度の半分の投与速度で患者の状態を観察しながら再開できる。
- ・ 投与再開 30 分後までに IR の再発が認められなかった場合には以下の如く投与速度を上げられる。

<u>〈Day15 以降〉</u>	
0～30 分	: 100mL/h
30～60 分	: 150mL/h
60 分～	: 200mL/h

Day22

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	アセリオ 1000mg	点滴	15 分
②	生食 50mL	点滴	15 分
③	サークリサ _____mg 生食 _____mL (全量で 250mL)	点滴	200mL/h
④	生食 50mL	点滴	全開

※IR が発現した場合

- ・ Grade3 以上は投与を中止。Grade2 は 1 以下になるまで休薬する。
- ・ 症状が改善した場合は、投与開始速度の半分の投与速度で患者の状態を観察しながら再開できる。
- ・ 投与再開 30 分後までに IR の再発が認められなかった場合には以下の如く投与速度を上げられる。

<u>〈Day15 以降〉</u>	
0～30 分	: 100mL/h
30～60 分	: 150mL/h
60 分～	: 200mL/h

Day1,8,15,22 (内服)

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	レスタミンコーワ(10mg) 5T	内服	サークリサ投与 15～60 分前
②	ファモチジン (20mg) 1T	内服	サークリサ投与 15～60 分前

Day1,2,8,9,15,16,22,23(内服)

投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	デキサメタゾン 20mg	内服	分1

2025/4月 投与速度改訂：体重別→固定(添付文書改訂のため)